

**エネルギーとは？**

**それは、自分の六感で感じ取るもの全て。**

**五感を通して知覚するもの 目に見えるもの、手や肌に触れるものの感触、温もり、音楽、音、匂い、それら全てが、エネルギーを持って具現化しています。物質化しているものは、科学できますね。五感の世界で捉えられるものは、証明され得る現実で 六感とは、インスピレーション引き起こす力という狭義の感覚だけではなく、人間の持つ感情、楽しい、嬉しい、悲しい、欲しい、といった感覚、そして想像、思考といった脳の活動も含んだ無形のエネルギーを知覚すること全てを指しています。**

**普段、生きていてあまり実感することの無いエネルギーの世界ですが、ご飯を食べたら何キロカロリー補給する、運動したら何キロカロリーを消費する、脳を使ったら、**

ガソリンを燃やしたらと、私たちの生命活動の全ては、エネルギーに置き換えることができます。

では、私たちの愛情や欲望や、恐れも皆エネルギー？

そうです。科学は、感情も思考の一形態と定義し脳内での電気信号の動きとして説明していますので これもまさにエネルギーに他なりません。

人間の愛情や欲望を司るのが脳内を走る電気信号だとすると、脳を構成しているものは何か？電気信号とは何かを説明しなければなりませんね。それがキチンと出来ないとコンピュータも人間も同じ感情を持った存在ということになってしまいますのでそれは困ります。それでは、もう少しエネルギーについてサイエンスしてみましよう。

自分の肉体、脳、細胞の一つ一つを構成している最小因子は何でしょう？ 普通は元素と呼ばれる物質と理解されてい

るのですが、現代科学で、それは更に細分化され原子、原子核、素粒子、クォークを経て物理学の最前線では今、ヒッグス粒子の存在を証明(発見)しようと躍起になっています。

クォークは、物質を構成する粒子と力を伝達する媒質としての粒子に分けられるとされています。ヒッグス粒子は、質量を生む素粒子として注目されているようですが、その存在を証明するのに何千億回という実験を経て見つかるかどうか という気の遠くなるような世界に入って行かなければなりません。質量があるか、無いか、哲学的に言うと 有か無か。

漸く人類は、(一握りの人達ですが) 無から有が生まれる瞬間を知覚しようという試みを科学的に始めたところに過ぎないのです。実は、人間の持つ感情は、目にみることは出来ませんが、最も大きなエネルギーを内包しています。

そして科学が証明するしないに関わらず私たちは既にそのエ

エネルギーを知覚しているのです。

感情は、愛に基づくか、恐れに基づくかで二分することが出来ると言われてています。映画スターウォーズなどで描かれた光と暗黒のフォースです。光は愛を現し、暗黒は恐怖を現しています。共に最強のエネルギーなのですが宇宙最強のエネルギーは、実は「愛」なのです。

だから、最後に愛は勝つのです。

では、なぜ 目に見えないフォースが最強たり得るのかを少し難しいですが サイエンスしてみましよう。

学校の理科で習う理論、エネルギー不変の法則は、今でも物理法則の基本です。アインシュタインの特殊相対性理論の有名な公式  $E=mc^2$  でエネルギーは質量に変換される、が提案されましたが現在では質量が不変であるかどうかは定かではない、またはある閉鎖系でのみ成り立つ特殊理論

という見方が有力となっています。

その質量の総和は変化しうるが、エネルギーの総和は変化しないという議論の中での特殊相対性理論ですが、右辺を見ると $C = \text{光速}$ という定数があります。

光速は絶対真空中では一定で宇宙最速と言われていますが、実は $C$ は光の速さでは無いのです。別の見方では、エネルギーを質量に変えて三次元宇宙を形成したものは光なのですが光の元となる 原質とも呼べる存在は 光よりも速い速度で伝播します。この公式を一般理論として展開するためには光速という定数ではなく、粒子の波動の伝播速度という変数を代入しなければなりません。そして質量も負の質量を認める必要があり、ある因子をこの式に加えるとエネルギー保存の法則が全ての条件下で成立することになると考えられます。これが何を意味しているかということ、存在

(質量)の元はエネルギーであり、そのエネルギーは、存在前の(質量の無い)宇宙に既に在る(在った)ものである、ということなのです。

改めて哲学的に表現すると、無から有を生み存在たらしめている何か、そのエネルギーが存在するのだ といえます。

では、そのエネルギーとは？

過去に地上に顕れたマスター達は、この原始から存在する最強のエネルギーを愛、慈悲 という言葉で表現されました。もっとも、精妙であり、且つ最強のエネルギー それが愛だということです。

物質次元に於いて、質量を生んでいるのは、原子の振動であると言われていています。原子の振動を生んでいるのは、主に電子の力です。原子核の回りを周回する電子が電磁波(波動)を生みその波動が質量を生み、重力(引力)を生んでい

ます。 私たちがエネルギーとして知覚するものは、全て波動  
です。直接、間接いずれにせよ波動として在るものが全てエ  
ネルギーとして知覚されています。

目に見えなくても同じです、音、声、テレビ、携帯電話の電波、  
テレパシー、感情、祈り・・・愛情、 知覚出来るもの全ては波  
動＝エネルギーなのですね。

そして、無限に質量がゼロに近い存在の持つ振動数が最も  
高く、細やかな波動を持っているエネルギー、それを先達たち  
が愛と定義されたのです。

人間という存在は、機械や電子回路では検知できない愛と  
呼ばれる波動(＝エネルギー)を知覚する能力を備えていま  
す。 そのエネルギー、波動が原始の宇宙を創造したのです。  
全ては、愛から始まったとは、宇宙は愛というエネルギーか  
ら始まったということです。無から有を産んだのは愛のフォー

スであったのであり、宇宙の営みは愛によって成り立っています。

全ては愛から生まれ、愛にたち帰るのです。

道は愛に始まり愛におわる

その意味するところは、深淵な科学ですね。

近い将来、地球の科学が宇宙レベルに到達した暁には、

地上で私たちが「愛」と呼ぶ エネルギーが最強であり、

その愛が宇宙を想像し、創造し 宇宙たらしめているという

ことが理解されるでしょう。その時、科学者達は、そのエネルギーを何と呼ぶでしょうか？

正日